

## ～令和5年度通常総会・第2回理事会開催～

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に移行され、社会経済活動も徐々に本格化してきている中、4年振りに会員の皆様にご出席いただき、令和5年度通常総会を6月27日に開催いたしました。

通常総会では、令和4年度の事業実績及び決算など議題3件が承認されたほか、令和5年度の事業計画・収支予算の報告、産業会館の在り方検討に伴うブランドショップ等の移転に関する現状報告を行いました。

また、塩田理事長より「今年は鹿児島において「2023かごしま総文」や「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」が開催されるということで、全国から来県される皆様方をおもてなしの心でお迎えし、新しいキャッチコピー「南の宝箱 鹿児島」にふさわしい豊かな自然や豊富な食材などの宝物をしっかりとPRして販路開拓につなげていきたいと考えております。」と挨拶がありました。

総会に引き続き開催した第2回理事会では、2社が新会員として承認されました。

今年度も会員の皆様方とともに本県特産品の振興を図ってまいりたいと考えておりますので、より一層の御支援・御協力をお願い申し上げます。



塩田理事長による開会挨拶

## 博多大丸にて「第2回 どんどん！鹿児島展」開催！

九州の一大消費地である福岡市にある大丸福岡天神店において「第2回 どんどん！鹿児島展」（4月5日～4月10日）を開催しました。

初日には、オープニングセレモニーやマスコミ向け試食会等での塩田理事長によるトップセールスが多く新聞やテレビで取り上げられ、また、SNS等を活用した告知などによって、福岡県内の消費者に向け、本県並びに鹿児島展を大いにPRしました。

今回は、昨年10月に開催された「第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会」で『和牛日本一』となった鹿児島県産和牛や、日本一のブリ、カンパチ、鰻、お茶など山幸海幸が溢れる「南の宝箱 鹿児島」をテーマに自慢の特産品等を幅広く紹介しました。

開催期間中、大丸福岡天神店で的人气企画であるライブショッピングを初開催し、福岡の人気タレントが情報番組内で、催しでのお薦め品を紹介しました。会場からのライブ中継中に注文を取ることで、臨場感溢れる販売となり、集客面や商品の訴求効果が非常に高い企画となりました。

また、コロナ禍も落ち着きマスク着用義務が解除されたことや地下鉄七隈線が開通し、博多駅と天神地区までのアクセスが良くなったことも来場促進につながりました。

来場者からは、「鹿児島の食材は美味しい」「新商品も多く新しい発見があった」「初めてきたがまた来場したい」などの声があり、新たな鹿児島ファンの獲得につながりました。

また、百貨店からは「鹿児島展の魅力やすばらしさを感じた」「大丸の顧客や福岡の方に非常に喜んでいただけた」、出展者からは「非常に多くの来場者で会場は盛り上がった」「試飲試食も再開され声掛けや接客もしやすく物産展らしさ（活気）があった」などの声がありました。今回、同会場内で開催された企画展「西元祐貴展」やスイーツ、ジェラート、クラフトビールなどの効果もあり、10代、20代などの若年層や女性層の来場も多く見られるなど、鹿児島展の認知度の高まりを感じました。



塩田理事長によるトップセールス



どんどん！鹿児島展 会場風景

## YouTuber・SNSやECを活用した新たな特産品振興

当協会では、海外への県産品の販路拡大・PRを行っております。

今回は、シンガポールおよび東南アジアでの効果的な販売促進を図るため、シンガポールで日本産品の輸入を手掛け、県産品も多く取り扱って頂いているOmi Pacific協力のもと、シンガポール在住日本人YouTuber Ghib Ojisan（ジブオジサン）氏（チャンネル登録者数約25万人）に來鹿いただき、特産品の特徴・魅力を配信する動画撮影を行いました。

Ghib Ojisan氏には、鹿児島島の食材で作られたシンガポールの食事体験や特産品の製造現場の視察、製造者との交流を通して、鹿児島島の自然・環境がもたらす県産品を堪能いただきました。撮影された動画は、今後YouTubeでその魅力等が配信・紹介され、さらに現地ECサイトと連動して本県産品の販売促進につなげていく予定です。

当協会では、今後も海外への本県特産品の販路拡大及びPRを支援して参りますので、輸出等に興味のある方は是非、ご相談ください。



YouTuber Ghib Ojisan氏による撮影風景

## ～かごしま遊楽館 鹿児島ブランドショップ東京店情報～ 「かごしまね誕生祭2023」「かごしま遊楽館誕生祭2023」を開催

今年度、来館客数1,200万人を突破したかごしま遊楽館では、令和5年5月30日に開館28周年迎え、「かごしま遊楽館誕生祭2023」（6月3日～4日）及び島根県のアンテナショップとの共催で「かごしまね誕生祭2023」（5月27日～6月4日）を開催しました。

「かごしまね誕生祭」は、令和2年5月29日に島根県のアンテナショップが日比谷シャンテに移転したことから、鹿児島県と島根県両県の魅力を発信し、双方のアンテナショップとしての機能性・認知度向上を図るコラボ企画として昨年、初開催しました。

今年は両県アンテナショップにてご当地パンなどを期間限定販売する「初夏のパンまつり」や両県マスコットキャラクターの登場、「かごしまねアンテナショップお買い物ラリー」を開催し、来館者から「一度に2県の魅力を発見できた」などの声があり、相乗効果のあるイベントとなりました。

また、かごしま遊楽館全体の取組みとして、1階さつまいもの館では限定品・おたのしみ福袋の販売、2階遊食豚彩いちにいさんでは、誕生祭限定ランチ、芋焼酎飲み比べセットの販売、3階ブランドショップ東京店では、工芸品ギャラリーにて「イラストレーター ちゃず 奄美大島の風景展」とプレミアム焼酎などが当たる抽選会を実施しました。中でも「奄美大島の風景展」で行ったちゃず氏によるイラストの実演イベントには、多くの方が来店するなど大盛況でした。（誕生祭2日間だけで約900名の来場）

東京店では、今後もこのようなイベント等を開催することで皆様と一緒に本県特産品をPRして参りますので、首都圏での特産品販売・PRをご検討の方は、是非、ご相談ください。



工芸品ギャラリーでの「イラストレーター ちゃず 奄美大島の風景展」



## 鹿児島純心女子短期大学学生が「大漁旗・五月幟」について学びました

当協会では、本県特産品に対する理解と認識を深めてもらうため、大学生を対象に伝統的工芸品の作り手から歴史・技法・特徴などについて学ぶ「特産品研修会」を毎年実施しております。今回は、講師に(有)亀崎染工の亀崎昌大氏をお招きし、鹿児島純心女子短期大学の学生18名を対象に県指定伝統的工芸品である「大漁旗・五月幟」の歴史や製作方法、また伝統技法である「印染」を活用した商品開発や海外での体験イベント等の実例などを写真で紹介しながらご講話いただきました。(6月7日(水)開催)

講話では、「伝統工芸品は身近にある民芸品と考えている。若い皆さんには、その伝統を受け継いでいく橋渡し役になってほしい」という想いや、コロナ禍により廃業・倒産する飲食店等が増えていく中、「テイクアウト」のぼりを作って飲食店に配布するなど、地域貢献の取組みについても語っていただきました。

学生からは「新商品開発や海外への進出等の行動力はどこから湧いてくるのか」という質問や「個人情報の観点で外ではこいのぼりを揚げられないことから、家の中で揚げる(飾る)という発想が凄い」「工房に行きたい」などの感想があり、「印染」や亀崎染工の取組みに非常に興味を持っていただきました。

当協会では引き続き、伝統工芸品への理解と認識を深めるとともに、若い感性を活かしたモノづくりを支援して参ります。



亀崎昌大氏による  
大漁旗の歴史等についての講話

## 特産振興支援員奮闘記

ご存じでしたか。

食品表示に関する最新情報をチェックしましょう。

「食品一括表示」は、みなさんの大切な商品情報を発信しています。



### 特産振興支援員 食品担当 海老原 涼子

食品衛生法と食品表示法の改正があり、令和3年6月1日から事業者が食品等の自主回収(リコール)を行う場合、リコール情報を行政へ届出することが義務化されました。鹿児島県では、食品衛生法違反またはその疑いがあり、事業者が自主的に食品を回収する場合、県HP等で県民の皆様にお知らせしています。

令和3・4年度の自主回収報告状況一覧によると「アレルゲンの欠落」と「期限表示の誤表示」が6割超を占めています。食品の表示は、食品を摂取する際の安全性の確保と一般消費者の食品選択に重要な役割を担っている大切な情報源です。再度チェックしましょう。

◎ 遺伝子組換え表示制度には、義務表示と任意表示があり、任意表示は2023年4月1日から新制度になりました。

◎ 消費者庁は、令和4年3月30日に「食品添加物の不使用表示に関するガイドライン」を策定しました。これにより商品パッケージなどに記載されている「無添加」「〇〇不使用」という添加物表示に規制が入るようになりました。(2024(令和6)年3月末までの約2年の移行期間)

◎ 食品表示法に基づく食品表示基準が改正(令和5年3月9日)され、特定原材料に「くるみ」が追加(令和7年3月末までが猶予期間)され「えび、かに、小麦、そば、卵、乳、落花生(ピーナッツ)、くるみ」の8品目が義務表示で、20品目が推奨表示になります。

★詳細は、消費者庁ホームページまたは、県食品表示110番(099-286-2533)でご確認ください。

## 1. 株式会社東武宇都宮百貨店「長崎・鹿児島展」初開催告知

当協会では、毎年同店で開催される「九州物産展」より、人気の2県の魅力を発信する「長崎・鹿児島展」を初開催いたします。

本県の多彩で魅力的な自然の中で育まれた食や代々、大切に受け継がれ、多くの人々を魅了してきた伝統的工芸品の数々を広く栃木県民に紹介する絶好の機会として、北関東一円にて更なる本県特産品の販路拡大を図って参ります。

【会期】令和5年7月19日(水)～7月25日(火)7日間

【会場】株式会社東武宇都宮百貨店 宇都宮本店 5階イベントプラザ

## 2. 株式会社山形屋「第14回 南の宝箱 鹿児島ふるさと物産展」開催告知

県内における人・モノ・情報の交流促進並びに県産品振興を図り、県内特産品や観光情報等を総合的に紹介するため標記物産展を開催いたします。

今回、鹿児島県の新PRキャッチコピーである「南の宝箱 鹿児島」をテーマに県内43市町村の掘り起こしをはじめ、「奄美群島日本復帰70周年」や、世界自然遺産登録30周年を迎える「屋久島」など多彩で特色ある特産品を県民の方々に幅広く宣伝・PRしたいと考えております。

【会期】令和5年8月17日(木)～8月22日(火)6日間

【会場】株式会社山形屋 6階大催場他

## 3. 「かごしま伝統の技」伝承事業「かごしまの手仕事学校」開催告知

小学生とその保護者等を対象として、本県の工芸品の製造体験や職人との交流を通じて、理解と認識を深めてもらうとともに需要拡大を図るため、マルヤガーデンズにて「かごしまの手仕事学校」を開催いたします。

今回は、国指定の伝統的工芸品である「本場大島紬」「川辺仏壇」「薩摩焼」の製作体験を始め、県指定の「大漁旗」「帖佐人形」(初企画)の製作体験も実施いたします。7月1日(土)11時からマルヤガーデンズHP内特設サイトにて体験者を募集いたしますので、下記URLよりお申込みください。

【会期】令和5年7月28日(金)～7月30日(日) 10:30～17:00

【会場】マルヤガーデンズ 4階ユナイトメントガーデン

【URL】<https://www.maruya-gardens.com/kg2023/>

## 4. 特産振興支援員をご活用ください

当協会では、企業の新商品開発や既存商品のブラッシュアップなどの様々なお悩みを解決するため、食品担当・工芸品担当の特産振興支援員が常駐しております。

お電話でのご相談はもちろん、出張相談、セミナー講師、コンクール等の審査員としても派遣(無料)を行っており、今後もお電話・メール等での相談も受付けておりますので、当協会ブランド支援センターへお気軽にお問合せください。

＜お問合せ先＞

(公社)鹿児島県特産品協会 ブランド支援センター TEL:099-239-3981

(食品担当:海老原 涼子、工芸品担当:村瀬 辰範)